

於て復舊平常の状態に就かんじす(八幡電報)

二工場職工集團

警戒巡查の手で鎮撫 塵物に觸るやうな感

各工場内を通じて、警備隊の運轉は開始され、漸々たる集まりの聞ゆる
とともに五百の煙突よりも亦漸次に平常の如く煙を吐かんとしつ
た。職工にありては兩三日來の所謂罷工氣分又
は怠業氣分全く消滅せしといふにあらざして、
何れかと言へば是等の情勢に捉はれて一種名
狀し難き不穩の空氣は漂ひ居れり。作業者は一時
間を経たる前七時頃又も平鋼工場、鍛冶工場
の二箇所に就業せる職工數十名は
集團して突然閃の聲を揚げ不穩の聲に出
でんとしたるが、構内警戒の巡查數十名駆け附け同
九時半に至りて漸く鎮撫し得たり。又職工に屬する
機關車七臺は過激なる運轉手三名の煽動脅迫を受
け、急かに運轉するに至り、急激な聲に陥らんとしつあり、當局側
は冷然として手を觸るゝがなき感なきしつありされど表面兎も角
も工場を開放して就業中なり製鐵所當局は氣味悪き種々な面目に作
業し居りて殆ど罷業前と異ならずと稱し居れるも記者の目撃したる
所にては依然其大半は怠業状態を保持し居たり(八幡電報)

煽動教唆者も入所

憲兵巡查の目が光る

検事正等構内にて取調開始 労友會員今後の方針打合せ

九日朝作業開始と共に罷業の煽動
教唆に幾分關係したりと思はるゝ
職工をも入所作業に従事したるよ
り六日以來入構者に出張し居れる
福岡地方裁判所安部正は平田
徳義、小倉區裁判所一色、兒
玉、佐藤、其他の判事と共に此
處ぞと語り大勢して製鐵所構内
出張各工場を巡視し同所内高等自
衛隊に陣取り關係者一同を召喚し
引問取調を行ひ居れり。職工等は
巡查憲兵等が各工場を間断なく巡
視し務の目録の眼にて警戒し居れ
るより却て仕事も手につ
かず人心猶ほ緩和すべ
くも非ざる有様なり一
方製鐵所側の回答に接したる友愛
會八幡支部にては誠意なき回答な
りとし今後更に結束を固め労友會
最初の目的貫徹の爲め努力すべく
九日朝友會本部と種々打合せをな
し今後の方針を定めたりと、因に
職工等も以て罷業のため八幡に來
る日遊夜遊の間に居り居れる

今後の警戒如何

製鐵所中川次長

「長官へは就業状態を電報で」
と長官の御任を知らぬ體に語る
中川製鐵所次長は罷工勃發以來警
備の緒に就きました事は未だ電報
夜極めて多忙の時間を割き九日は
して居りませぬが今日正午電報
稍お静かたる體にて「實に今回
は世間を騒がして済ませぬでした
が然し今日九日の朝から豫報の通り
全工場作業を開始しました、さ
うして労働者は受持の各工場に就
業して居ります、無論今日以後は
以前の如く作業する事を得ると信
じます、白仁長官へは生産状態復
か判りませぬ云々(八幡電報)

憲兵八百餘名の

び憲兵八百餘名の 握飯二つ三つにて逆も 空腹を満たし能はず寝 具も十分ならざるより

福岡縣下各警察署警官及
内務省警備隊の憲兵八百餘名には
常の折給にてその内容が驚ひを
と一般の巡查憲兵は竹皮包の
握飯二つ三つにて逆も
空腹を満たし能はず寝
具も十分ならざるより